

問1 熊本県や鹿児島県の沿岸で発生した、工場から海に流された有機水銀が原因の公害病は何でしょう。

1. イタイイタイ病 2. 四日市ぜんそく 3. 水俣病 4. 新潟水俣病

問2 地球温暖化をふせぐために、わたしたちの社会で工夫が求められていることは何ですか。

1. 二酸化炭素を出さないような製品を作ること 2. 自動車のスピードを上げること 3. 地球の気温を計る回数を減らすこと 4. 工場の数を今よりも増やすこと

問3 日本は地震がとても多い国です。これまで起きた大きな地震のうち、2011年に東北地方を中心に発生し、津波による大きな被害が出た震災を何といいますか。

1. 阪神・淡路大震災 2. 東日本大震災 3. 熊本地震 4. 新潟県中越地震

問4 過去の大きな地震では、建物の倒壊以外にも多くの被害が出ました。東日本大震災のような海に近い場所で起きた地震において、特に大きな被害を引き起こした原因は何ですか。

1. 噴火による火山灰 2. 長い期間の干ばつ 3. 激しい雷雨 4. 巨大な津波

問5 ナショナルトラストという活動において、最も大切にされている考え方はどれですか。

1. 市民が協力して大切な自然を買い取り、未来へ残す 2. 土地を売って、新しい建物をつくる 3. 政府がすべてのお金を出して保護する 4. 開発をすすめて、土地の価値を高くする

問6 高度経済成長期に、工場から出る煙や排水によって私たちのくらしや健康が守られなくなった問題を何といいますか。

1. 自然災害 2. 人口減少 3. 公害 4. 食料不足

問7 沖縄では、首里城（しゅりじょう）や美しい海といった「観光資源」を大切に守り、多くの人に知ってもらい取り組みをしています。なぜ沖縄では、このような取り組みを一生懸命に行っているのでしょうか。

1. 他の都道府県と同じ産業を増やすため 2. 全国どこでも同じ風景が見られるようにするため 3. 新しいダムや工場をたくさん作るため 4. 歴史や自然を観光業として生かし、経済を支えるため

問8 ラムサール条約は、どのような場所を大切に守っていくための約束事ですか。

1. 古い建物や歴史的な町並み 2. 高い山々や森林 3. 魚がたくさんとれる遠い海 4. たくさんの水鳥が集まる湿地

問9 日本で過去に起きた大きな地震と、その地域や特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。

1. 熊本地震：北海道で発生した 2. 東日本大震災：東北地方を中心に発生した 3. 阪神・淡路大震災：九州地方で発生した 4. 東日本大震災：近畿地方を中心に発生した

問10 ラムサール条約で湿地を保護することには、どのような意味があると考えられますか。

1. 水鳥だけでなく、そこに住むたくさんの生き物の命を守るため 2. 世界中の歴史的な建造物を新しく建て直すため 3. 湿地をすべて埋め立てて、新しい工場や道路を作るため 4. 特定の国だけで利益を分け合う仕組みを作るため

問11 沖縄県で、古くから台風の強い風にそなえるための家屋の工夫として考えられるのはどれですか。

1. 雪をおろしやすい急な屋根にする 2. 高い位置に床を高くつくる 3. 家を密集させて建てない 4. 石垣やフクギで囲いをつくる

問12 日本の中で、台風の通り道になりやすく、特に大きな影響を受けやすいのはどこですか。

1. 関東地方 2. 沖縄県 3. 北海道 4. 北陸地方

問13 日本で台風がよく接近したり、上陸したりする時期はいつごろですか。

1. 春から夏 2. 冬から春 3. 夏から秋 4. 秋から冬

問14 貴重な自然を世界遺産として登録する一番の目的は、何のためですか。

1. その場所の自然や価値を世界中で守り続けるため 2. その場所の土地を国が買い取るため 3. たくさんの観光客を呼んでお金をもうけるため 4. 新しい道路や建物をたくさん建てるため

問15 富山県の神通川（じんづうがわ）の近くで発生した、鉱山（こうざん）から出たカドミウムという物質が原因の公害病は何でしょう。

1. 新潟水俣病 2. イタイイタイ病 3. 水俣病 4. 四日市ぜんそく

問16 公害病裁判の結果、日本社会にとってどのような大切な変化が起きましたか。

1. 裁判をすること自体が法律で禁止された 2. すべての工場が自動的に閉鎖されることになった 3. 企業の環境を守る責任が強く求められるようになった 4. 工場がすべて海外へ移転することになった

問17 地球温暖化（ちきゅうおんだんか）とは、地球全体にどのような変化が起こる現象ですか。

1. 地球の大きさが変わること 2. 地球の平均気温が上がること 3. 空気中の酸素がなくなること 4. 太陽の光が強くなること